

## 自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 稲羽西自治会連合会・稲羽東自治会連合会
2. 日 時 令和元年7月11日（木）19時00分～20時40分
3. 場 所 稲羽コミュニティセンター
4. 出 席 者 自治会長 19名、市長・都市建設部次長兼道路課長

〈内容〉

○連合会長あいさつ

○市長あいさつ

○テーマ概要

テーマ①：消防団の消防車庫建て替え

テーマ②：木曾川河川敷の環境整備

テーマ③：都市景観の景観美と快適性、安全性を図る

テーマ④：「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を地元の自慢に

○提言による懇談

テーマ①：消防団の消防車庫建て替え

〈三井町第2自治会長〉

三井町全体で整備計画を立て、公民館の建替え時には駐車スペースを8台取り、3年後に計画をしている消防団車庫建替え時には、駐車スペースを20台程度確保して、公民館活動には11台を計画しています。それには、市の造られた消防団車庫では、駐車場を確保するには困難なため、三井町が考えている消防団車庫は、消防車を南から出入り口を設けるL字型の車庫を考えています。

また、消防団車庫の入口の前には、赤い電灯がついていますが暗いため、次回、新しい消防団車庫を建替える時は、赤色の電灯になると聞いていますが、三井町は、消防団車庫は明るい電灯（LED）を計画しています。トイレについても、維持管理費がかかるため、公民館を利用することでトイレの設置はしないと考えています。

現行のやり方では、解体費を含まず建替え費用が1,500万円程度かかると聞いています。11坪程度の消防団車庫に坪120万円程掛けてまで、耐震にこだわる必要はないと思います。一級建築士に聞くところでは、耐震に強いのは筋掛けでつくるのが一番強いと聞いています。また、トイレを設置される場合で800万円程度。トイレがない場合でも700万円程度で立派な消防団の車庫ができると聞いています。そこで、提案します。三井町の消防団車庫建替えの時には、市・自治会・消防団と三位一体で協議していただくようお願いいたします。

〈市長〉

消防団車庫建て替えに関する、ご提案ありがとうございます。

消防団車庫の建替えは、各務原市消防団車庫等建設等に関する取扱要綱に基づき、地元自治会からの要望があったもので、築35年以上経過したものや、地震、火災などにより、機能が果た

せなくなったような車庫に対して、順次建て替えを進めているところです。

消防団車庫は、災害時において地域の重要な防災拠点となることから、大規模震災でも耐える構造であることが重要であり、市では鉄骨造平屋建てのものを建築させて頂いています。

建替えの際には、自治会及び消防団班長等と協議を重ねながら、トイレやホース乾燥塔等の設置の有無、詰所をフローリングにするか土間にするかの選択、間取り等についての要望も伺いしながら、できる限り意向に沿う形で進めております。これまでに建設した車庫の中には、自治会等の要望により隣接する公民館のトイレを使用することとし、消防団車庫のトイレを設置しなかったものや、既設のホース乾燥塔を使用することとし、新たな設置を見送ったものもあります。

三井町の消防団車庫につきましては、平成30年5月に建替えについての要望書を自治会からいただいております。現在築33年が経過していることから、今後数年のうちに建替えが可能となってくるものと考えます。その際には、自治会の皆様や消防団班長の方々からご意見を伺いながら、できる限りの経費削減を図ってまいりたいと思っておりますので、その節はご協力をお願いします。

消防団の充足率はここ数年99%を維持していますが、増加することは難しいところもあると聞いています。今後も、消防団と連携をとりながら進めていきます。

また、消防団の維持管理費につきましても、今年度、早速検討しまして、ここ数年のうちには対応をしていきたいと考えています。参考までに、市内消防団車庫数は59棟あり、25棟は建替えを実施しました。

## テーマ②：木曾川河川敷の環境整備

### 〈上中屋町自治会長〉

上中屋町木曾川河川敷、サイクリングロードの林を整備し、解放感のある河川敷にし、将来的に「道の駅」をも視野に入れ、各種イベントなど開催できる河川公園にすることを提言します。

各務原大橋・各務原総合運動公園やサイクリングロードが完成しているにもかかわらず、木曾川など全体風景を見渡せる場所がないため、せっかくのサイクリングロードも圧迫感、不気味な感じしかなく、利用者も少ないため、林を整備し、堤防から走る車窓からサイクリング、キャンプ場、総合運動公園や木曾川など、一望でき、見晴らしがよく解放感があれば、利用者の増加につながるのではないかと考えます。

### 〈道路課長〉

木曾川の河川敷の利用・眺望を良くしていく提言について、お答えします。

川は何のためにあるのか、一級河川は大雨が降れば、上流長野県から下流の愛知県伊勢湾へ流れ込みます。流域の断面を見ると、上流部から川の水が増えて下流へ流れていく川の幅が必要となっています。その上で、自然発生的に樹木が増えて川の幅が狭くなるのが阻害となり、災害時には危険な状態になっていきます。

木曾川沿いサイクリングコースマップによれば、愛知県犬山市、扶桑町、江南市、一宮市、稲沢市、各務原市を含めた色々なコースが木曾川沿いに整備されています。

また、各務原市周辺のサイクリングロードは、各務原大橋から各務原総合運動公園を繋ぐロードで新たに整備したところには、一部民地をお借りして整備しています。また、民地については市で直接樹木を切ることが出来ないため、その民地に勝手に入らないように防止するため「マムシ」注意看板を設置しており、それが利用される方には不安を煽ることになっているため、もう

少し工夫する必要があると認識しています。

各務原市がサイクリングロードを整備して、6年になりますが、確かに樹木が鬱蒼として、眺望や景観が損なわれているところもあり、国の方では、近年増加している自然災害に対応するため、平成30年度に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を立て、その一つとして、河川敷の樹木伐採をして、川幅を確保することを進めております。木曾川についても、今年度より実施することになっていきますので、この3か年で限りある予算の中ではありますが、早期に実施されるように国に要望してまいります。

なお、イベントなどが開催できる河川公園整備につきましては、市として、このサイクリングロードを川の上流の方へ伸ばす予定をしています。河川公園の整備につきましては、各務原浄化センター西の未利用地において「木曾川の自然を体験でき、子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流できる河川敷」をテーマにした木曾川周辺整備基本計画を策定しました。しかしながら策定後5年が経過したことから、社会情勢などの変化を踏まえ、改めて市民のニーズをお聞きしながら、今年度、基本計画の見直しを行ってまいります。各種イベントができるオープンスペースを備えた公園の整備は、一つのご意見として検討していきたいと考えています。

〈上中屋町自治会長〉

民有地については理解しますが、各務原市総合運動公園から、かさだ広場まで整備されたところは国有地と聞いていますので、出来るところから早急に対応していただけるようお願いいたします。

〈道路課長〉

来年度、中屋大橋下流周辺など国が定めた区域において、樹木の伐採を行うと聞いております。

テーマ③：都市景観の景観美と快適性、安全性を図る

〈北島自治会長〉

広報かかみがはら（5月1日号）に「地域資源を活かした美しい都市景観の形成」また、「快適性や安全性の確保を図りながら質の高い住環境の形成」とあり、そこで北島地域の実情と改善について提言します。

「地域資源」という点から北島地域周辺を見た時、何と言っても一級河川である「木曾川（右岸）」です。各務原市の景観を考えるうえで欠くことが出来ない地域資源です。しかし、残念ながら「左岸（犬山市、扶桑町）」と比較した時、景観や遊歩道など土地活用面で大きな格差があります。少なくとも、20年から30年位前には、少年自然の家から愛岐大橋までは、自然の家を利用する小中学生のグループが、バードウォッチングをしながら歩くことができるくらい道が開けていましたが、今は、雑草が生い茂り、鬱蒼とした状況にあります。とても一級河川の景観が楽しめるという状況ではありません。神社周辺の堤防は、竹林があり、かつては堤防から水辺を見下ろすことが出来ましたが、現在では、竹が伸び放題な状況で、枯れた枝葉も手付かずの状態、これまでも町内からの声もあり、繰り返し「市へ要望」を提出していますが、管轄の問題もあり、未改善の状態です。

また、快適性、安全性の視点から大きな問題として、堤防の茂みの中に「イノシシ」や「野犬」が住みつき、目撃情報も寄せられています。今のところ、人への被害は報告されていませんが、快適性、安全性を脅かす状態にあることは確かです。また、8年程前には、鬱蒼とした竹林の中

で、人が亡くなっているということもありました。

以上のことから、熊野神社周辺堤防下の竹林整備をして、街中都市景観の形成という視点から、自然豊かな地域の一層の景観美と快適性、安全性の改善をお願いします。

〈市長〉

今回ご提案いただきました熊野神社周辺堤防下の竹林整備につきましては、自治会要望としてこれまでも数年にわたりご要望をいただいております、その都度本市から管轄である国土交通省の木曾川上流河川事務所に対して強く要望してまいりました。

現在、国土交通省においては近年の頻発する自然災害に備えるため、平成 30 年 12 月に「防災、減災、国土強靱化のための 3 力年緊急対策」を実施しており、この中には河川の増水による氾濫の危険性を解消するため、河川敷内の樹木伐採をいたします。

そこで、ご要望の地域につきまして木曾川上流河川事務所に再度確認したところ、今回ご要望の地域は樹木伐採の対象となっており、他の地域の実施状況により時期は確定していないが、今年度 10 月以降、もしくは来年度には、愛岐大橋から濃尾第一生コン辺りまで整備予定であると回答を得ております。

テーマ④ 「岐阜かかみがはら航空宇宙科学博物館」を地元の自慢に

〈下切町自治会長〉

2018 年 3 月 24 日にリニューアルオープンして、1 年が経過し 50 万人を達成されたニュースを見ました。これから、10 年、20 年を見据えた、新たな展開をどのように考えているかお聞かせください。

博物館の展示物は大変充実しており「飛燕」の実機や「零戦」初号機の実寸大模型など 31 機の機体、宇宙エリアの「きぼう」、「はやぶさ 2」の実寸大模型が新たに展示されています。また、シミュレータなどの体験型の展示物も充実し、大型シアターでは、人類が空や宇宙に挑んだ物語を映像で見ることができ、分かりやすく子どもにも楽しめます。

しかし、残念ながら地元である稲羽地区の自治会、シニア等との交流がないように思います。地元としては、より多くの方が博物館と交わるような事業展開があれば、地域の活性化にも繋がるのではないかと思います。

リニューアルの基本コンセプトとして空(そ)・宇宙(ら)への挑み〜かかみがはらから日本へ、そして世界へとして、4 つのコンセプトが掲げられています。

1. 日本の航空宇宙技術史が俯瞰できる場
2. 子どもたちに感動を与え、夢と誇りを育む施設
3. 岐阜県の航空宇宙産業の力、文化を国内外へ発信する拠点
4. 岐阜県における環境拠点施設（産業観光の目玉施設）

また、各務原市を中心とした岐阜県内 21 市町が国際戦略総合特区「アジア NO.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定し、次世代の航空宇宙産業を担う子ども達に同産業の魅力や夢を伝え、就業意欲の醸成・喚起を図る目的のために、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館をリニューアルしたと聞いています。市長は、海外の航空宇宙科学博物館、アメリカのスミソニアン航空宇宙科学博物館、フランスのル・ブルジェを視察され、つい最近では、ロシアのモスクワ市立宇宙飛行士記念博物館に行かれたと聞いています。

今後、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を地元とともに関りを持って発展していくことを願っています。

〈市長〉

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館についてですが、「空（そ）・宇宙（ら）への挑み～かかみがはらから日本へ、そして世界へ～」をコンセプトとし、平成30年3月24日リニューアルオープンいたしました。リニューアルにより、展示面積は1.7倍に増床し航空宇宙に関する博物館として国内最大級の規模を誇っており、航空と宇宙の両方がある本格的な国内唯一の専門博物館となっています。展示機数は、合計43機で、そのうち実機展示は34機と日本一の実機展示数を誇ります。展示のコンセプトを「先人の空（そ）・宇宙（ら）への憧れ、挑戦の物語を伝え、子ども達にチャレンジスピリットと感動を与える博物館」とし、常に展示物等の魅力向上を図っています。

本年3月には、リニューアル後1周年を迎え、宇宙飛行士（3名）による講演会や、各種イベントを行いました。5月の大型連休にはリニューアル後入館者数が50万人を達成したところです。

また、世界に開かれた航空宇宙科学博物館として知られるアメリカの「スミソニアン航空宇宙博物館」やフランスの「ル・ブルジェ航空宇宙博物館」と人材交流や共同プロモーション等の連携をしています。本年5月にはロシアを訪問し、「モスクワ市立宇宙飛行士記念博物館」と「国立宇宙とロケットの博物館」を視察し、連携に向け合意を得ることができました。これからも岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の魅力在国内にとどまらず世界にも広く発信していきます。

岐阜県は航空宇宙産業の一大集積地として、事業所数や従業者数・製造品出荷額等が日本でもトップ3に入っています。これから、10年、20年先を見据えたとき、この岐阜県の航空宇宙産業を守るために、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は大きな基盤となると考えています。高度な技術を持った航空宇宙産業における人材育成を幼年期から小中学生、高校生、在職者に向け切れ目なく行うため、航空機の仕組みを学べる体験教室や企画展などを実施しています。引き続き、教室や講演会、企画展等を通し、航空宇宙産業を支えている岐阜の魅力発信や将来の航空宇宙産業を担う人材の育成に向け取り組んでいく予定です。

ご提言の地元自治会やシニアクラブ等といった地域との交流についてですが、例えば、今年から夏休み期間中20時まで営業を延長する「夏の夜間開館DAY（仮称）」を8月5日（月）～9日（金）まで実施を予定しており、そのイベントに合わせて夏祭り等の地域行事の際に会場として博物館の屋外にあるイベントテントを使用していただく等の取り組みが考えられます。地域行事の会場とすることで、多くの方々が博物館を訪れる機会が増え、これまで以上に地元を受け入れ愛される施設となるほか、地域の皆様が博物館と関わる機会が増えることで、博物館を「地元の自慢」として国内外に広く発信して頂き、知人・友人をご招待していただければ、博物館としても地元地域としても活性化に繋がると思います。今後、指定管理者である公益財団法人 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館と自治会をはじめとする地域の方々とのような連携ができるのか考えてまいります。

○行政の説明

・ひとの活躍・まちの活気

しあわせ実感かかみがはら  
○連合会長まとめのことば  
○市長まとめのことば